

耳鼻咽喉科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 舌癌N0症例における予防的頸部郭清の意義と画像検査による潜在的頸部転移の予測について

[研究機関] 北海道大学病院耳鼻咽喉科

[研究責任者] 坂下 智博（医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科・助教）

[研究の目的]

くび（頸部）にリンパ節転移を認めない舌癌の患者さんにおいて、舌癌の切除による手術の後に頸部へのリンパ節転移を起こした場合には既に手術ができない状態となっていることもあります。そのため、手術を行う際、後に生じる可能性のある頸部へのリンパ節転移を予防するために、頸部へのリンパ節転移が確かめられていない場合でも頸部の脂肪とリンパ節を切除する手術（頸部郭清術）をあわせて行うことを勧める意見もみられます。しかしながら、頸部郭清術を行った場合には、くびの痛みや肩の挙げづらさなどの合併症が起こりえるため、すべての舌癌の患者さんに対して頸部郭清術を行うかどうかについては、未だ意見の統一が得られていません。今回、手術前に頸部のリンパ節への転移が確認されていない舌癌患者さんにおいて、頸部郭清術を行った群、行わなかった群とで生存している確率の比較を行い頸部郭清術の有用性について検証し、治療前に撮影したMRI/CTによる画像評価により画像評価では確認できなかった頸部のリンパ節への転移が予測可能かについても検証を行います。

[研究の方法]

● 対象となる患者さん

2005年1月から2014年12月までの間に北海道大学病院耳鼻咽喉科に入院し、舌癌に対する手術治療を受けられた方で、且つ術前の諸検査で頸部リンパ節転移を認めなかった方。

● 利用するカルテ情報

年齢、性別、画像検査、病理検査、血液検査、受診年月日、手術日

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院耳鼻咽喉科 担当医師 坂下 智博

電話 011-706-5958 FAX 011-717-7566